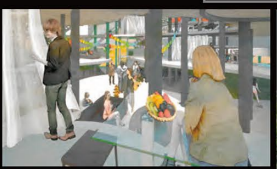
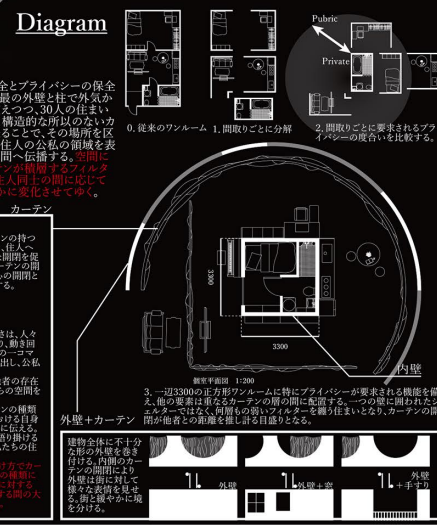
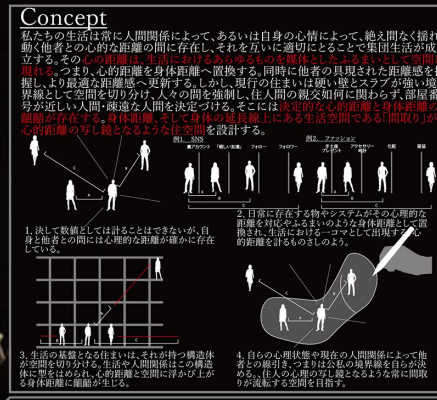
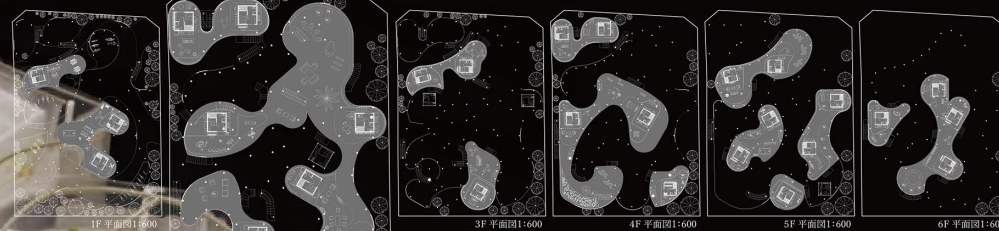


# Kaleido

語源: Kalos(美しい)+Eldos(形態) 【ギリシア語】  
 意味: 「変幻の極まりがない」・「二度と同じ形にはできない」

私たちは、他者とのココロの距離を  
 ふるまいというカラダの距離で具現する。  
 ココロの安寧は、独立したシェルターが  
 守護することで得られるものではなく、  
 関連するカラダの距離を互いに適切にとることで生まれる。  
 「カーテンをめくる」という些細な営みの中のふるまいに  
 注目し、間取りを構築することで、開閉を通じて  
 ココロはカラダ、そしてカラダの先の住空間と写し鏡のように連動する。  
 住人は相補的に間を取り合いココロとカラダを安寧へと導く。



無数のカーテンがなびくことで、室内を通り抜ける風が可視化される。誰もが等しく持つ心地良きの要素を共有する。

外出中はカーテンを開けて自前の書籍を公開している。共用部のベンチと相まって、神出鬼没の図書館となる。

カーテン越しに住人の談笑が聞こえた。開けると共用部でパーティをしていた。瞬間、自室のリビングは会場へと変わる。